協力／朝日放送・キングレコード・松竹・東宝・フジテレビ

Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

京極夏彦のベストセラー 世界の蜷川が完全映画化！ 「嗤う伊右衛門」

有名な四谷怪談を新解釈で再構築した京極夏彦の傑作文学「嗤う伊右衛門」を世界的な演出家・蜷川幸雄が完全映画化。出演は唐沢寿明、小雪、香川照之、池内博之、六平直政、椎名桔平ら。浪人・伊右衛門（唐沢）は又市（香川）の世話で民谷家へ婿入りし、岩（小雪）と夫婦になる。岩は病で左側の顔が崩れ、瞳は白く濁っていたが凛とした、高潔な女性だった。二人は次第に深く愛し合うようになるが、それを垂頭与力・伊藤喜兵衛（椎名）は面白く思わなかった。喜兵衛は岩の顔が崩れる前に執拗に岩を求めていた事もあり、策を弄して二人を別れさせ、事もあろうに自分の愛人・梅を伊右衛門に嫁がせ、五の日ごとに伊右衛門の家に通っては梅を抱いた。浪人時代の伊右衛門の長屋の隣人・直助（池内）や宅悦（六平）らから伊右衛門の窮状を聞いた岩は怒りと悲しみで正気を保てなくなり物語りは一気に破局へと向かう。小雪の特殊メイクはアメリカ製で、ゴムの黒いあばたをボンド状のもので貼り付け、ホワイトアウトというコンタクトを装着。あばたは一度貼り付けると撮影が終わるまで外せない。小雪は「汗はそんなにかかないんですけど、ゴムを付けた皮膚がかゆくなる時がある。でも直接触れないのでペン先や指でちょっと押してごまかします」と苦労を打ち明ける。コンタクトも眼がひどく乾燥するらしく、朝から撮影の日は夕方になると辛そうで、何度も目頭を押さえていた。'04年2月東宝系公開。

他人を意味もなく憎み、執拗に嫌がらせを続ける伊藤喜兵衛を抜群の存在感で演じた椎名桔平

生まれてから笑った事のない虚無的な伊右衛門を好演の唐沢寿明。クライマックスで爆発させる静かなる怒りは凄絶

顔は醜く崩れていても、その精神はどこまでも高貴。日本映画史上最も美しい岩を小雪が熱演

タランティーノも一押し！ 「キル・ビル」梶芽衣子も大活躍 「剣客商売」

梶芽衣子歌う「怨み節」「修羅の花」のレコードジャケット。「怨み節」は発売当時、30万枚のミリオンセラーとなった。両曲ともチャイチクレコードより発売中のCD「銀幕演歌」に収録

「キル・ビル」が梶芽衣子主演の「修羅雪姫」を元ネタに、様々な日本映画にオマージュを捧げた事は有名だが、タランティーノ監督の梶への想いは尋常ではなく、「キル・ビル」の挿入歌に梶の歌う「修羅の花」（「修羅雪姫」主題歌）、エンディングには同じく梶の歌う「怨み節」（「女囚さそり」主題歌）を使用する程の入れ込み様。そのフジテレビで近々放送予定の「剣客商売」だ。ご存じ池波正太郎原作の人気シリーズの最新作で、はもちろん藤田まこと。今回は大治郎（山口馬木也）と三冬（寺島しのぶ）に長男が誕生。ハードな剣客の世界にホームドラマの要素も充実して奥行きも増したドラマに仕上がった。もちろん池波シリーズのお約束であるグルメもお楽しみ。江戸前の池波が愛した食材や料理が毎回ドラマを彩る。

今回で第5シリーズを数え、「必殺」「はぐれ刑事」に並ぶ藤田まことの代表作となった

奇跡のカルト時代劇DVD化！「おしどり右京捕物車」

©松竹・ABC
「おしどり右京捕物車」DVDはキングレコードより全7巻を順次発売。各4980円（税抜・1巻のみ2980円）

©松竹・ABC

盗賊の罠で下半身不随となった鬼与力が箱車に乗り、妻に押させて悪党と闘うという、現在の地上波では到底ドラマ化不可能なハードボイルド時代劇「おしどり右京捕物車」の奇跡の全話DVD化が決定した。北町の虎と恐れられた凄腕与力・神谷右京（中村敦夫）は盗賊の罠に落ちて下半身不随となり、職を追われる。しかし盗賊一味の魔手は右京の妻・はな（ジュディ・オング）にまで及び、妊娠中の花は流産してしまう。右京は奉行所が手に負えない事件を一両で請け負う下請け与力となり、手裏剣と鞭を会得し、はなが押す箱車に乗り込み悪と対決する。大勢の悪党に襲撃されて、はなに箱車の方向を叫びながら鞭と手裏剣で闘う場面は圧巻。本作は必殺シリーズのスタッフが自信を持って新たに送り出した意欲作でもある。極限状態の夫婦愛にただただ涙！

最も現代に近い必殺シリーズ 「必殺からくり人・血風編」

初回限定BOX（税込13650円）はキングレコードより発売中。単品も同時発売 ©松竹・ABC

江戸庶民の晴らせぬ恨みを晴らし続けた「必殺シリーズ」全30作の内、シリーズ9作「必殺からくり人・血風編」は江戸末期の慶応4年から鳥羽伏見の闘いまでを背景に描いた異色作。必殺といえば華麗で奇抜な必殺技が毎回話題だが、今回はそんな時代背景もあって最新式のライフルも登場する。官軍の密偵である土左衛門（山崎努）は、廻れ義にするため、からくり人一味に潜り込むが、そこで庶民の地獄を目の当たりにして、次第に官軍への反発を強めていく。他の出演は草笛光子、吉田日出子、浜畑賢吉、ピーター。ピーターは妖艶な寺小姓役で含み針が武器。その必殺場面は美しい映像で殺しの美学と呼ぶにふさわしい。1月よりキングレコードよりDVD発売。

今月の言葉

連続ドラマの企画が始動。昨年末より企画が立ち上がり、2月には撮影の予定なので、本誌が発売の頃には脚本の執筆も終わって撮影がスタートしているはず。しかしいつもながら1月中に全10話の脚本の大半を執筆しなければならないタイトなスケジュールなので不安。というのも企画がまだ固まっておらず、現在（12月末）の時点で脚本を書きたくても書けない状況。雑誌の新連載や他のドラマもあり、年明けからのスケジュールが恐い。

2004年2月1日　山田誠二

責任編集人　山田誠二
1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

トピックス

水戸黄門DVD化プロジェクト始動！

ついに千回を突破した国民的番組「水戸黄門」のDVD化プロジェクトが始動した。まずは昨年の12月より第1部をBOX化と同時に歴代黄門から選りすぐりの5話を収録した名作選を発売。全国有名店で発売と同時に通販も開始。申し込みはフリーダイヤル0120-310-853まで。

ついに出た「くノ一」BOX

「魔界転生」の原作者・山田風太郎の代表作を原作に、奇想天外なエロティシズム美学で話題を呼んだ大ヒット時代劇シリーズ「くノ一忍法帖」シリーズがDVD・BOX化スタート。第1弾は1～4作目を収録した限定版で2月4日より発売。1万円（税抜）でキングレコードより発売。

「ラスト・サムライ」福本清三自伝文庫化

日本一の斬られ役として、東映京都撮影所で43年、出演回数2万回。そしてついに「ラスト・サムライ」でハリウッド・デビューを果たした福本清三さんの半世紀「どこかで誰かが見ていてくれる」が文庫化。集英社文庫より発売中。貴重な談話が満載の映画ファン必読の書。